

2020年3月期第1四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q: T&MビジネスのFY19Q1受注の状況について説明してほしい。

A: アジアを中心とした5Gチップセット及び端末の開発関連投資が進展し、前年同期比で受注が増加しました。

Q: T&Mビジネスにおいて、FY18Q4とFY19Q1を比較して売上高営業利益率が改善した理由は何か？開発投資は計画通り実行できているのか？

A: プロダクトミックスの違いによる粗利率の改善が主な理由です。5Gの開発投資は計画通り実行しています。

Q: LTEのビジネス状況について説明してほしい。顧客のLTEへの投資縮小は想定通りか？

A: LTEのビジネスは、LTE Advanced Pro関連の受注が中心です。5Gの進展に伴い顧客のLTEへの投資は想定通り縮小方向にあります。

Q: 5Gスマートフォンの計測市場のピーク時期と規模について、現時点での見通しは？

A: 5Gスマートフォンの計測市場のピークは2022年～2023年で、その規模はLTEピーク時の70%程度と予想しております。

ただし、5G利活用分野での計測需要がプラスされればビジネスチャンスは拡大すると期待しています。

Q: 5Gの新たな活用として注目されている「ローカル5G」のビジネスチャンスについてどのように考えているか？

A: ローカル5Gに特化した事業者や認証団体により、5Gの利活用が進展し、計測市場が拡大することを期待しています。